



# 営農NEWS



## レタスの重要害虫を的確に防除しましょう

秋野菜の主要品目であるレタスの重要害虫として、定植後に地際の茎を切断して枯死させるカブラヤガなどのネキリムシ類、葉の食害や結球内部に食入して商品価値をなくしてしまうオオタバコガ、ハスモンヨトウなどのチョウ目害虫、葉肉組織内を食害するナモグリバエ、株に寄生・吸汁して生育不良やウイルスの媒介虫となるアブラムシ類などが発生します。

特に、オオタバコガやハスモンヨトウは夏季高温の年に多発生する傾向があり、今年の栽培でも十分な注意が必要です。病害虫発生予報 8 月号（県病害虫防除所）によりますと、8 月におけるオオタバコガの発生量は平年よりやや多く、ハスモンヨトウは平年並と予想されています。

これからレタスの定植や本圃の栽培管理にあたり、効果的な害虫の防除対策に努め、栽培中も被害の早期発見、早期防除を徹底してください。

表 1 レタス害虫を対象に育苗期後半～定植までに苗処理できる主な防除薬剤（平成 26 年 8 月 27 日現在）

薬剤名	処理方法	カブラヤガ	オオタバコガ	ハスモンヨトウ	ヨトウムシ	ナモグリバエ	アブラムシ類
プレバソフロアブル5	セルトレイ等※への灌注	○	○●	○●	○●	○●	
ジュリボフロアブル	セルトレイ等※への灌注	○●	○●	○●	○●	○●	○●
スタークル顆粒水溶剤	セルトレイ等※への灌注			○●		○●	○●

注) ※印は、セル成型育苗トレイ 1 箱またはペーパーポット 1 冊 (30×60cm・使用土壌約 1.5~4l) を略しました。薬剤により処理法（処理時期や希釈倍率など）が異なりますので、必ずラベルで確認してください。

表 2 レタス害虫の本圃における主な防除薬剤（平成 26 年 8 月 27 日現在）

薬剤名	オオタバコガ	ハスモンヨトウ	ヨトウムシ	ナモグリバエ	ネキリムシ類	アブラムシ類	その他
アフーム乳剤	○●	○●		○●			
フェニックス顆粒水和剤	○●	○●	○●				ウワバ類○●
トルネードエースDF	○●	○●	○●				
プレオフロアブル	○●	○●		○●			
スピノエース顆粒水和剤	○●		○●				
コテツフロアブル	○●	○●	○●	○●			
ファルコンフロアブル	○●	○●					
アニキ乳剤	○●	○●					
ハチハチフロアブル				○●		○●	
パダンSG水溶剤				○●			ナメクジ類○●
ダントツ水溶剤				○●		○●	
カルホス微粒剤F					○●		
ダイアジノン粒剤5					○		カガムシ類幼虫○

注) 表 1 および 2 とも、○印はレタスに、●印は非結球レタスまたはリーフレタスに農薬登録があることを示します。

### <参考防除例>

茨城県農業総合センターの技術体系化チームで実証した、「秋レタスのチョウ目害虫に対するモデル防除例」（2011 年農業いばらき 8 月号を参照）では、薬剤の 4 回処理を基本とした効率・効果的な重点防除体系を提案しています。

これは、下記に示すように、「セル成型苗に灌注処理」と「結球期以降 3 回の薬剤散布」を組み合わせた防除体系で、その年の害虫発生状況や気象条件を考慮しながら、必要に応じて追加防除を行う体系となっています。

生育ステージ	定植後日数（目安）	提案されている主な薬剤
定植直前（定植 3 日前～前日の処理）		プレバソフロアブル5などをセル成型苗に灌注処理（3~4 週間の防除持続効果が期待できます）
展葉期		（害虫の発生状況を考慮して、必要に応じて追加防除を行う）
結球始期	21 日後	トルネードエースDFなどの散布
結球始期 7 日後	28 日後	アフーム乳剤などの散布
結球中期	32 日後	フェニックス顆粒水和剤などの散布
その後		（害虫の発生状況を考慮して、必要に応じて追加防除を行う）

農薬を使用する際は、ラベルに記載の登録内容、使用法、注意事項などを確認し、飛散に注意して使用して下さい。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040